

# 「硫黄島からの手紙」栗林中将の孫が語る

# おじいさん

第2次世界大戦の激戦地、硫黄島(東京都小笠原村)の最高司令官だった栗林忠道中将の秘蔵写真をも、孫の新藤義孝衆院議員(48)＝自民・津島派＝が本紙を通じて公開した。米映画「硫黄

## 新藤衆院議員

島からの手紙」(監督クリント・イーストウッド)も観賞。演じる渡辺謙(47)に祖父の姿を重ね合わせ「おじいさんに会うことができた。何よりの供養になった」としている。



映画「硫黄島からの手紙」で栗林中将を演じる渡辺謙



## 製作に協力

幼少のころ、母たか子さんから家族から漠然と「あなたのおじいさんは、大変な戦いに行つて立派に戦った人ですよ」と聞かされていたという。成

長してから硫黄島に関する文献などに触れ、祖父の偉大さを「内なる誇り」として胸に抱いてきた。それだけに当初は、米国人が日本軍の視点で硫黄島の映画を撮るといふ企画には懐疑的だった。

硫黄島で指揮官としての職務を全うした栗林忠道中将  
昨年4月にイーストウッドが来日して対面。「単なる戦争ドラマではない。大切なものを守るた

## 観賞「いい供養になった」

渡辺の意気込みにも心を動かされた。長野市にある栗林家の菩提(ぼた)寺へ墓参りに連れて行き、栗林中将が戦地か

## 脚本も吟味

生還者や遺族によろしく「硫黄島協会」のメンバーと脚本も吟味。「余は常に諸子の先頭にある」と指揮官としての職務を全うした栗林中将について「最期に関しては、玉砕はせず最後の最後まで戦い抜いた人というシーンになるのでは」と提案もした。



「信念を曲げないところは受け継いでいる」と祖父への思いを語る新藤義孝衆院議員

新藤 義孝(しんどう・よし) 1958年(昭33)1月20日、埼玉県川口市生まれの48歳。明治大学卒業後、川口市役所、同市議会議員を経て、96年に衆院初当選。03年の総選挙で敗れ、昨年9月に復活当選。党総務などを務める。埼玉2区、当選3回。

▼硫黄島の戦い 米軍が、日本本土攻撃への要衝として1945年(昭20)2月16日から艦砲射撃などを加え、同19日に上陸。米軍25万人に対し、日本軍2万2000人。栗林中将は島内各所に全長18センチ及ぶ地下壕(ごう)を掘って応戦。米軍がわずか5日で終わると見込んだ戦いは、6月末にまで及ぶ持久戦に。米軍は戦死傷者2万8868人。日本軍は戦死者2万1900人、生還者1023人。映画は硫黄島2部作として、米国側から描いた「父親たちの星条旗」が公開中。日本側の「硫黄島からの手紙」は12月9日公開。